

金沢大学「人類の未来をつくる独創的研究者の育成」

●育成したい人材像

真理の追求と人類の課題解決に駆られ、常に自分が取り組むべき問題を意識しているのみならず、その問題を従来にはない分野融合的なアプローチで解決しようとする強い意思、ずば抜けた発想、そしてその発想の可能性に最後まで拘り抜く力を持った人材

●背景（問題意識）

- 突出した意欲や資質を備えた生徒に対するフォローが不十分であり、特に地方ではその傾向が強い。
- これからのサイエンスは、課題解決型であり、多様な学問分野との連携が重要となる。
- 平成28年度からの事業により、北陸を中心とした周辺地域を含む卓越した科学人材育成拠点として機能している。

●企画の主な特徴

受講生の興味と意欲を最大限伸長させる探求型教育プログラム

- 受講生の意欲(研究テーマ)を最大限生かすプログラム構成
- より研究活動を重視したプログラム(研究活動主体の内容)
- 科学に求められる課題解決型の現代的要請への対応
- 意欲と資質を備えた受講生への支援の充実(研究環境の提供)
- 石川県の自然科学系3大学が連携して実施
- 二重メンタリング制度の導入
- ルーブリックを用いた評価と結果の可視化

●企画の主体組織

金沢大学 理工研究域

●連携機関

(連携機関) 北陸先端科学技術大学院大学, 石川県立大学, 石川県教育委員会, 富山県教育委員会, 福井県教育委員会, 新潟県教育委員会, 長野県教育委員会, 岐阜県教育委員会, 横浜市教育委員会, 澁谷工業株式会社, 小松マテーレ株式会社, 中村留精密工業株式会社

●企画の最終目標

人類の未来をつくる独創的研究者の育成: 本プログラムを経験した生徒の中から将来人類に貢献しうる発見をし、ノーベル賞といった国際的な科学賞受賞者の輩出を目指す。

